

2022/3/29「持続可能な地域づくり」事前授業日程 修正 (P.3)  
2022/4/13 P3.科目名 修正

## 2022 年度春semester フィールド・スタディ/プロジェクト研究 募集要項

募集期間	実習期間	募集プログラム
2022/4/13(水)～ 2022/4/27(水) 16:30	2022 年度夏セッション期間 (2022 年 8-9 月)	P.3 参照

「2022夏、まだ見ぬ世界へ飛び込もう。」



立命館アジア太平洋大学  
アカデミック・オフィス  
第3版  
(2022年4月13日)

## フィールド・スタディ / プロジェクト研究とは

### ■フィールド・スタディ■

#### 【アジア太平洋学部における特色】

アジア太平洋学部のプログラムでは、アジア太平洋学の枠組みにおいて、ある事象について包括的に学修し、専門性、誠実さ、共感をもって国際社会で活躍できる人材を育てることを目的とする。参加学生は、異なる価値観・文化を持つ他者と適切に協働することを学び、様々な事象について観察、分析、調査、議論し、組織的な解決策を講じられるようになることを目指す。

#### 【国際経営学部における特色】

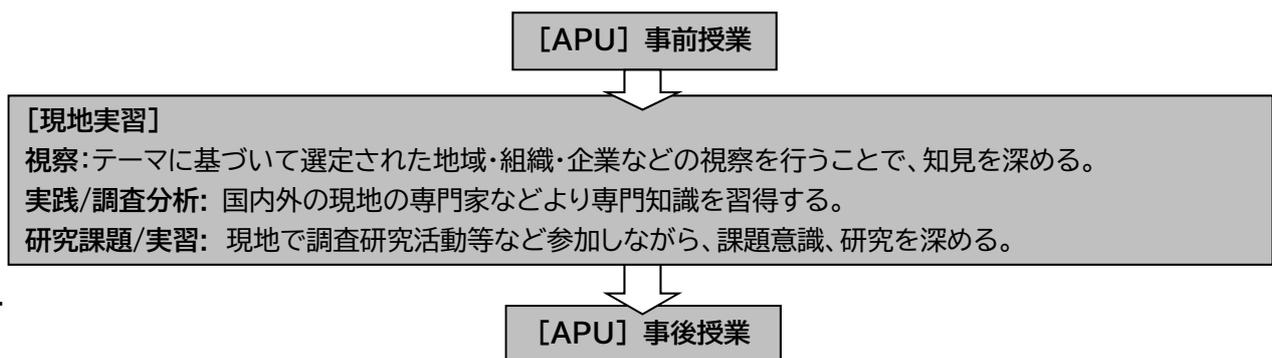
国際経営学部のプログラムでは、国際的かつ批判的な思考力及び知識・技能を持つ人材の育成を促進することを目的とする。また、専門科目に対する関連付けを高めるために、経済・経営に関する反転的な学習を経験できる。

### ■プロジェクト研究■

プロジェクト研究は、専門演習(ゼミ)を履修する3、4回生の学生を対象とした連携型プログラムです。プログラムはプロジェクト研究担当教員のゼミを履修する学生を対象に、国内外で実施しています。学生はゼミの授業に加え、プロジェクト研究に参加することで、自身の研究課題に対してより深い専門知識を修得し、その後の卒業論文の執筆へと繋げています。

\*「プロジェクト研究」の英語表記はカリキュラムによって異なりますので注意してください。

## プログラムの流れ



## 申請要件

### ■フィールド・スタディ■

#### 【セメスター】

- ・ 申請セメスター時(2022年度春セメスター)、3-7セメスターであること。
- ・ プログラム実施セメスター(2022年度春セメスター)が最終セメスターの場合、申請不可。

#### 【学籍状態】

- ・ プログラム実施セメスター(2022年度春セメスター)に通常在籍していること。
- ・ プログラム実施セメスター(2022年度春セメスター)に在籍状態が「留学」「休学」となる場合は受講不可。
- ・ 停学中の学生は、申請締切日までに停学期間が終了する場合には、申請することができます。

#### 【言語学修状況】

- ・ プログラム実施セメスター(2022年度春セメスター)で、以下条件を満たしていること。
  - 英語基準学生が日本語開講プログラムを受講する場合
    - 日本語で授業が行われるため、授業内容を理解することができる程度の日本語能力が必要です。
  - 日本語基準学生(スタンダードトラック)が英語開講プログラムを受講する場合
    - 英語中級 A・Bの単位を修得していること。

- ・ E/J開講の場合、言語要件はありません。

#### 【所属学部】

- ・ 受講者の選考にあたっては、開講学部にも所属する学生が優先される場合があります。ただし、開講学部の所属学生以外も申請できます。

#### 【その他】

- ・ 申請時点で日本国内に在住している必要があります。
- ・ 上記以外にシラバスの「履修の目安」や「学生への要望事項」が定められている場合があります。詳細は、シラバスで確認してください。

## ■プロジェクト研究■

### 【セメスター】

- ・ 申請セメスター時(2022 年春セメスター)、5-7 セメスターであること。

### 【学籍状態】

- ・ プログラム実施セメスター(2022 年度春セメスター)に通常在籍していること。
- ・ プログラム実施セメスター(2022 年度春セメスター)に在籍状態が「留学」「休学」となる場合は受講不可。
- ・ プログラム実施セメスター(2022 年度春セメスター)が最終セメスターの場合、申請不可。
- ・ 停学中の学生は、申請締切日までに停学期間が終了する場合には、申請することができます。

### 【その他】

- ・ 申請セメスター(2022 年度春セメスター)にプログラム担当教員の 3・4 回生演習科目を履修中であり、次セメスター(2022 年秋セメスター)も同演習を継続する意思があること。(3・4 回生演習科目にはサブゼミも含まれます。)
- ・ 担当教員の演習科目(専門演習、卒業研究)に所属していること。所属学部は関係なく申請できます。
- ・ 上記以外にシラバスの「履修の目安」や「学生への要望事項」が定められている場合があります。詳細は、シラバスを確認してください。

## 科目集計分野

### 科目集計分野

#### ■フィールド・スタディ■

##### 【2011 年度カリキュラム】

プログラム開講学部	APS 学生	APM 学生
APS	専門教育科目	自由選択
APM	自由選択	専門教育科目

##### 【2017 年度カリキュラム】

プログラム開講学部	科目名	APS 学生					APM 学生
		APS 専門教育	CSM 専門	ED 専門	HT 専門	IRP 専門	APM 専門教育
APS	環境・開発 フィールド・スタディ (ED)	○	-	○	-	-	他学部科目
	観光学 フィールド・スタディ (HT)	○	-	-	○	-	
APM	APM フィールド・スタディ	他学部科目					○

#### ■プロジェクト研究■

##### 【2011 年度カリキュラム】

プログラム開講学部	APS 学生	APM 学生
APS	専門教育科目	自由選択

##### 【2017 年度カリキュラム】

プログラム開講学部	APS 学生	APM 学生
APS	専門教育科目	他学部科目

## 募集プログラム

### 【プログラム一覧】

#### ■フィールド・スタディ■

開講学部	学修分野	科目名 【上段】11年度カリ、 【下段】17年度カリ	プログラム名	担当教員	実習地	日程	単位数	開講言語	オンライン切替 (派遣中止時) ○…切替あり ×…切替なし
APS	ED	フィールド・スタディ	持続可能な地域づくり： 長野県飯田市における調査	土橋 卓也	長野県飯田市	事前授業： 7/12(火)4・5 限 7/19(火)4 限 (2022/3/29 赤字部分修正)	2	J	×
		環境・開発フィールド・スタディ				実習： 8/9(火)-8/12(金) 事後授業：-			
	ED	フィールド・スタディ 環境・開発フィールド・スタディ	障害と社会 Disability and Society	山形 辰史	大分県別府市、日出町	事前授業： 7/23(土) 実習： 8/4(木)-8/9(火) 事後授業： 8/9(火)※現地にて	2	E/J	×
HT	フィールド・スタディ	観光学フィールド・スタディ	Agriculture Heritage, Tourism and Rural Development	VAFADARI M. Kazem	石川県金沢市、能登町、輪島市、 珠洲市	事前授業： 7/6(水) 実習： 8/22(月)-8/29(月) 事後授業： 8/31(水)	2	E	○
	フィールド・スタディ								
APM	-	フィールド・スタディ (2022/4/13 赤字部分修正)	企業調査研究プログラム (METI 選定企業西日本の ケーススタディ)	藤本 武士	・ 広島県広島市、熊野町 ・ 兵庫県神戸市、 ・ 大阪府大阪市、枚方市、池田市	事前授業： 8/29(月)-8/31(水) 実習： 9/12(月)-9/14(水) 事後授業： 9/15(木) ※現地にて	2	J	○
	-	APM フィールド・スタディ (2022/4/13 赤字部分修正)							
-	フィールド・スタディ (2022/4/13 赤字部分修正)	APM フィールド・スタディ (2022/4/13 赤字部分修正)	企業調査研究プログラム (METI 選定企業東日本の ケーススタディ)	藤本 武士	・ 愛知県名古屋市、西尾市 ・ 埼玉県さいたま市 ・ 千葉県船橋市 ・ 北海道札幌市、苫小牧市、帯広市	事前授業： 8/29(月)-8/31(水) 実習： 9/5(月)-9/8(木) 事後授業： 9/9(金) ※現地にて	2	J	○
	フィールド・スタディ (2022/4/13 赤字部分修正)								

#### ■プロジェクト研究■

開講学部	科目名 11年度/17年度カリ	プログラム名	担当教員	実習地	日程	単位数	開講言語
APS	プロジェクト研究	NPO 研究	清家 久美	オンライン	事前授業： 7/7(木)、7/14(木)、7/21(木)、8/3(水)各 5 限 オンライン実習： 2022/9/7(水) - 9/11(日) 事後授業：2022/9/12(月)	4	J

#### 【注意】

- ・ 各プログラムの詳細は、必ずシラバスで確認してください。シラバスは[アカデミック・オフィス Web サイト](#)に掲載しています。
- ・ このプログラムの単位は、各セメスターの履修科目登録上限単位数には含まれません。
- ・ このプログラムの履修登録は大学が行います。
- ・ 2022 年度春セメスターの科目として登録されますが、フィールド・スタディ/プロジェクト研究の成績発表は 10 月末に行われます。

## 募集概要

### 募集プログラム

今回募集するプログラムは、「[募集プログラム](#)」で確認してください。

### 複数の Off-campus Study Program への申請について

- ・ 申請条件を満たす場合、複数プログラムへの申請が可能です。その場合、申請する全てのプログラム分のオンライン申請をしてください。なお、オンライン申請の際、入力開始画面に「複数のプログラムに申請しますか」という問いが表示されますので、必ず「はい」を選択し、必要事項を入力してください。
- ・ オンライン申請において「プログラムの日時が重複しないプログラムに複数合格した場合、全てのプログラムへの参加を希望しますか？」に対して「はい」と選択していた場合も、申請したプログラム同士の実習・授業等の期間が重複している場合は、申請時に選択した優先順位に基づいて、選考を行います。

### 申請方法

申請期間中に、以下の申請を行ってください。

申請期間: **2022/4/13(水)~2022/4/27(水) 16:30**

[アカデミック・オフィス Web サイト](#)からオンライン申請ページにアクセスしてください。

- ・ オンライン申請ページは申請期間開始と同時に公開されます。
- ・ 複数回提出した場合、提出日が新しいものを受け付けます。

### 【注意事項】

プログラムへの参加が決定した場合、「[誓約書](#)」をオンライン提出していただきます。申請の時点で、必ず保証人の同意を得た上で申請してください。

誓約書: 申請者本人、及び保証人両者の直筆署名が必要です。

### 選考方法

- ・ 書類審査による総合的な選考を行います。(書類選考の段階で面接が必要と判断された場合は、別途連絡します。)
- ・ 申請者が多い場合、各プログラム実施学部所属学生が優先されます。

### 募集ガイダンス日程

**日時: 2022/4/13 (水) 5 限 (16:10- )**  
**Zoom ミーティング ID: 974 2483 6860**

### 選考結果発表

**2022/5/9(月) 午後**  
**Campus Terminal「あなた宛ての重要なお知らせ」で通知**

### 受講者ガイダンス

**2022/5/11(水) 5 限 (16:10- ) (教室等詳細は後日案内)**

### 危機管理ガイダンス

**2022/7/20(水) 5 限 (16:10- ) (教室等詳細は後日案内)**

## 参加における注意事項

【注意】基本的な注意事項は巻末添付「[プログラム共通事項](#)」に記載しているため、必ず確認した上で申請してください。本プログラム独自の参加条件を以下に記載していますので、熟読した上で応募を検討してください。

### 1. 経費

#### プログラムに要する費用

- ・プログラム参加には所定のプログラムに要する費用を支払う必要があります。詳しくは、各プログラムのシラバスを参照して下さい。
- ・プログラムに要する費用や支払い期限は、受講者決定後 2022 年 5 月末までに決定し、APU メール等を通じて通知します。
- ・支払い期限は 6 月中旬を予定しています。
- ・支払い期限までに支払いがされない場合、支払い期限日翌日を以ってプログラムへの合格が取り消されます。その場合、「参加辞退」と同様の扱いとし、既に発生した費用は学生本人が負担し、成績評価は「F」となります。

### 2. 参加において必要な手続き等

#### 実習地への交通手配

〔国内実施プログラムの場合〕

- ・担当教員の指導の下、個人で手配をする必要があります。

### 3. 免責事項・注意事項

#### 履修登録における注意事項

- ・事前・事後授業及びプログラム期間が、正課の講義・補講や定期試験・追試験、履修登録期間や正課外活動や研修などと重なる場合も特別な配慮はありません。あらかじめ学年暦やその他の活動期間とプログラム期間を確認してください。
- ・既に登録済みの 2022 年度春semester第 2 クォーター科目・夏セッション科目と、希望するフィールド・スタディのプログラム実施期間(事前授業、実習、事後授業)が重複している場合も、プログラムへ申請することは可能です。ただし、プログラムへの受講が決定した場合は、必ず、各自、履修登録修正期間 2 で春semester第 2 クォーター科目・夏セッション科目の履修登録を削除してください。
- ・キャンセルにかかる費用は学生本人の負担となります。(停学になった場合を含みます)

### 4. 新型コロナウイルスに関係する注意事項

#### ワクチン接種・PCR 検査について

- ・プログラムの参加にあたっては、新型コロナウイルスのワクチンを 2 回以上接種していることを参加条件とします。プログラム参加者にはワクチン接種証明書の提出を求めます。
- ・実習開始日前 72 時間以内に PCR 検査もしくは抗原検査を受け、陰性の確認を求める場合があります。詳細は 7 月 20 日の危機管理ガイダンス時にお知らせします。
- ・ワクチンの 3 回目接種については参加条件とはしませんが、可能な限り接種することを推奨します。

#### 派遣中止について

- ・新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、派遣中止判断を行う可能性があります。(添付) [プログラム共通事項「4.派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」](#)参照)
- ・派遣中止や中断、内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、キャンセル費用等を負担する必要があります。
- ・派遣中止になった場合、プログラム開始後でも成績ならびに単位は付与されません。

### 5. プログラムの中止について

#### プログラム中止判断基準

添付) [プログラム共通事項「4.派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」](#)参照

#### プログラムのオンライン切替について

派遣中止となった場合、プログラムをオンラインに切り替えて実施する場合があります。受講許可後に派遣中止となりオンラインに切り替わった場合は受講辞退を認められ、履修削除扱いになります(=成績評価は「F」になりません)。

プログラム内容の変更や受講辞退手続きについては中止が決定した際に改めて連絡します。現時点でのオンライン切替可能性については、プログラム一覧「[オンライン切替\(派遣中止時\)](#)」列を確認してください。

## その他

- ・ **宿泊**  
シラバスに掲載されている各プログラムの宿泊形態を確認してください。  
宿泊先では、宿泊施設のルールや指示に従ってください。
- ・ **参加資格について**  
プログラムへの受講許可が下りていない学生がプログラムへ参加することはできません。

## スケジュール

日程	内容
2022年	
4/13(水)	募集開始
4/13(水) 5限(16:10-)	募集ガイダンス Zoom ミーティング ID: 974 2483 6860
4/27(水) 16:30	募集締め切り
5/9(月) 午後	選考結果発表
5/11(水) 5限(16:10-)	受講者ガイダンス
5/23(月)	誓約書提出〆切
6月-8月	事前授業(日程はシラバス参照)
7/20(水) 5限(16:10-)	危機管理ガイダンス
8月-9月	実習及び事後授業(詳細はシラバス参照)
10月末	成績発表

上記以外にも各種ガイダンスが行われる場合があります。詳しくは参加決定後にご案内します。

## フィールド・スタディ / プロジェクト研究に関する問い合わせ先

アカデミック・オフィス B棟1階  
TEL 0977-78-1101 / FAX: 0977-78-1102  
担当者: アカデミック・オフィス 広地、津田、伊東、井戸沼  
Email: atfs@apu.ac.jp

## プログラム共通事項

### 1. 査証(ビザ)

出発から帰国までに必要となるビザを確認の上、学生本人の責任で申請してください。必要となるビザは、学生の国籍や派遣国・地域、滞在期間などによって異なります。必要となるビザ(トランジットビザを含む)および必要書類等は各大使館のホームページ等で各自確認してください。なお、ビザ申請要件は予告無しに変更される場合がありますので、最新情報を入手するようにしてください。オンアライバルビザ(On-arrival Visa)での参加は、ビザ発給国の定めにより渡航前にビザを取得できない場合以外は原則認められません。

万一、所定の期日までにビザが取得できない場合は、派遣・留学は取り消しとなります。また、派遣・留学開始時期の変更等はいりません。

その際にかかるキャンセル料は、参加者の負担となります。負担するキャンセル料と成績については「免責事項・留意事項」に準じて取り扱います。

#### 【国際学生のみ】

プログラム実施国のビザ以外に、日本の在留許可期限及び再入国許可の条件を確認してください。在留許可期限の更新・再入国許可について分からないことがあれば、チューデント・オフィスで確認してください。

注意)プログラムによってはビザの申請を代行会社に委託している場合があります。詳細はプログラム担当者に確認してください。

### 2. 保険

個人で既に加わっている場合も含め、APU 及び派遣先大学が指定する国内・海外旅行保険、JCSOS 危機管理システム(J-TAS)等への加入が必要です。保険加入に関する詳細は、事前授業又は参加者ガイダンスで説明します。

### 3. 予防接種

事前授業又は参加者ガイダンスにて、APU ヘルスクリニックが推奨する予防接種の種類などを案内します。ヘルスクリニックが推奨する予防接種は必須ではありませんので、接種するかどうか各自判断してください。接種を希望する場合は、各自ヘルスクリニックで受診の手続きを行ってください。

ただし派遣先によっては予防接種が必須になる場合があるため、ガイダンス内の指示に従ってください。

### 4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し

① 次の条件に当てはまる場合は、教学部長が学生派遣の中止を判断します。

- 1) 派遣先国・地域についての外務省の危険情報がレベル 2 以上である場合。ただし、新たな感染症の蔓延等により、感染症危険情報が発令された場合は、状況に応じて判断する。
- 2) 社会情勢を鑑み、プログラムを安全に実施できないと考えられる場合  
2-1) 中止判断にあたり留意されることは、実習先での天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・危機発生時の派遣先機関における派遣学生への支援内容・その他不可抗力に起因する事態が発生した場合等が想定されます。
- 3) 派遣先大学が、渡航を伴う APU からの学生受入中止を判断した場合

② 以下のいずれかに該当する場合、合格発表後であっても、参加者のプログラム参加が取り消されることがあります。なお、交換留学、ダブルディグリープログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除くプログラムについては、参加を取り消された場合、成績は原

則として「F」評価となります。

- A) 参加態度・出席状況などを勘案し、受講不相当と判断された場合
- B) 選考結果発表後、懲戒処分の対象となった場合
- C) 指定の海外旅行傷害保険などに加入しない場合や、書類の提出を怠る、必要なガイダンスに参加しないなど大学の指示に従わない場合
- D) 負傷・病気等で留学が適当でないと大学が判断した場合
- E) 不正行為を行った場合
- F) その他学生としての本分に反した場合

- ③ 受講が取り消された時点で既に発生している費用については、学生本人が費用を支払う必要があります。

## 5. 選考結果発表後の辞退について

本学は皆さんがプログラム申請をした時点で受講の意思があるものとして選考を行います。従って、選考結果発表後の辞退は原則認められません。

申請する際は、事前にプログラム内容をよく確認し、辞退することのないよう準備を行ってください。なお、期日内に大学が指定した費用の支払いがない場合は辞退したものと扱います。キャンセル料については、次項「6. キャンセル料について」を参照してください。単位付与があるプログラムの場合、辞退した者の成績評価は原則として「F」評価となります。

## 6. キャンセル料について

選考結果発表後に辞退せざるを得ない状況が生じた場合、辞退する学生は、その時点までに発生した費用を支払わなければなりません。キャンセル料には、銀行手数料(海外送金手数料等)も含まれます。

既にプログラムに要する費用を大学に納入済みの場合、キャンセル料を差し引いた差額を返金します。返金手続きは、一定時間を要します。

## 7. 履修計画について

本プログラムによる履修科目・修得単位数が、卒業までの履修計画において問題がないか、十分に確認してください。選考結果発表後に問題が判明した場合および「4. 派遣の中止や内容の変更、参加の取り消し」に記載している事象が発生した場合も、特別な配慮等はしません。自己責任において、プログラムの応募を行ってください。

注意) 講義内容が同じプログラムに複数回参加することはできません。

申請を希望するプログラムが、すでに修得済みのプログラムの内容と同一かどうか不明な場合は、事前にアカデミック・オフィスにお問い合わせください。

## 8. 個人情報の取扱いについて

詳細は、合格者あてにお送りする誓約書を参照してください。

## 9. プログラム参加にあたって

- ① プログラムでの経験が有益なものになるかどうかは、参加者自身の姿勢や努力が大きく左右します。海外で異文化を受け入れる柔軟性や積極的な学習姿勢を持つことが必要です。各自でプログラムの参加目的をしっかりと決めてください。なお、派遣前後に行う事前/事後授業やガイダンスへの出席は必須です。無断欠席は認めません。その他、書類や課題などの提出期日は必ず守ってください。
- ② プログラム参加中は「プログラムに参加するにあたっての遵守事項(誓約書)」および「Off-campus Study Program へ参加する学生のための危機管理ガイドライン」を遵守してください。

## 遵守事項(交換留学、ダブルディグリー・プログラム、EXPLORE、APU グローバルリサーチプログラム、短期サマー/ウィンタープログラムを除く)

### 1. 基本姿勢

立命館アジア太平洋大学 Off-campus Study Program (以下「プログラム」という。)に参加する学生は、次の点を遵守しなければならない。

- (1) プログラムの目的と主旨を理解し、積極的に真面目な態度で勉学に励まなければならない。
- (2) 立命館アジア太平洋大学 (以下「本学」という。)の学生として自覚と誇りを持って、本学および派遣先大学・機関 (以下「派遣先」という。)の名誉を傷つける行動は慎まなければならない。
- (3) プログラム期間中は、日本の法令および本学の諸規則の他、派遣先の国・地域の法令および諸規則を遵守し、本学および派遣先の教職員の指示に従わなければならない。
- (4) 遵守事項に反する事態を生じさせた場合は、本プログラムへの参加取消・帰国措置を命じられても、異議を申し立ててはならない。

### 2. 健康管理等

- (1) 健康管理は、自らの責任で行うこと。
- (2) 渡航前に、本学が指定する海外旅行傷害保険および危機管理支援システム (J-TAS) 等へ加入すること。(海外プログラムのみ)
- (3) 既往症等ある場合は、申し出ること。
- (4) 「Off-campus Study Program参加学生 健康状況および学習面における支援自己申告書」を提出すること。
- (5) 傷病等により入院加療の医療措置が必要となった場合は、すみやかに本学および派遣先に報告するとともに教職員の指示に従うこと。ただし、これらの措置に必要な費用の内、保険の補償限度額超過分については、本人が負担すること。
- (6) 緊急に医療手当または手術の必要が生じ、本人または保証人の同意を得る時間的猶予がない場合は、本学もしくは派遣先の教職員または医師の判断によって処置することに同意すること。
- (7) 本学もしくは派遣先の教職員によって医療行為が必要と判断された状況下で、自らの意思で受診をしなかった場合、如何なる問題が起こったとしても本学、派遣先はその責任を負わない。

### 3. 経費および補償

- (1) プログラムに要する費用 (実習費・宿泊費・交通費・保険料等) は、指定の期日までに納入すること。
- (2) 募集要項に定める所定の期日後に、本人の傷病、処分等の理由によってプログラムへの参加または継続ができなくなった場合、または辞退した場合には、必要経費 (派遣先から本学に請求された必要経費を含む) を負担すること。
- (3) 天災・災害・ストライキ・伝染病・現地情勢の変化・交通機関の運航状況・現地医療状況・戦争・テロ・引率者の怪我や急病及びそれに類する事象・その他不可抗力に起因する事態によって、プログラムの中断や内容の変更があった場合、本学および派遣先にいかなる費用も請求せず、3.(2)と同様の費用を負担すること。
- (4) 本人の不注意または本学および派遣先が管理できない状況下で、事故、病気または死亡事故が発生した場合、本学および派遣先に対して何等の金銭的またはその他の責任を問わないこと。
- (5) 本人の所有物の盗難や損害、交通事故、刑事事件等が本学および派遣先が管理できない状況下で発生した場合は、本人の責任で対応しなければならないこと。
- (6) 故意または過失により、第三者または本学に損害を与えた場合は、賠償の責を負わなければならないこと。
- (7) プログラムの実習期間中に、本学、派遣先以外の第三者団体、個人、ホームステイ先等による不法行為が原因で本人に事故や損害が生じた場合、本人が訴訟やそれに関わる対応等の責任を負わなければならない。本学、派遣先はその責任を負わない。

### 4. 入国・帰国 (海外で実施されるプログラムのみ)

- (1) プログラム実施期間前に個人で入国してはならない。
- (2) プログラム実施期間終了後は、速やかに帰国しなければならない。派遣先国の滞在期間延長は、認められない。
- (3) (1) および (2) の規定にかかわらず、本学が必要と認めたプログラムにおいては、本学が事前のガイダンスで指定する方法により、日本出国日および日本帰国日を事前に大学に申告するとともに、自己責任で現地集合し、帰着するものとする。

### 5. 誓約書の提出

上記事項を理解し、本人および保証人による誓約書を提出すること。

## 誓約書

私は、下記プログラムに参加するにあたり、募集要項・シラバスおよび別紙の遵守事項を理解し、各事項を厳守し、誠実に履行することを、ここに誓約します。申請書やその他提出書類に記載した個人情報（氏名、性別、生年月日、その他本プログラムに係り大学へ提供した情報）は、プログラム参加手続および本学が管理・運営に関する業務の目的のために、本学内で使用されること、また、第三者（派遣先大学・機関、旅行代理店、査証取得代行会社、保険会社、危機管理サポート会社、宿泊施設、関係国（日本、参加学生の母国、派遣国）の在外公館及び政府機関）に提供されることに同意します。

### 本人記入欄

日付 \_\_\_\_\_

学生本人署名 \_\_\_\_\_ ※「描画」で署名（入力不可）

学籍番号 \_\_\_\_\_

参加プログラム フィールド・スタディ 持続可能な地域づくり

障害と社会

Agriculture Heritage, Tourism and Rural Development

企業調査研究プログラム（METI 選定企業西日本のケーススタディ）

企業調査研究プログラム（METI 選定企業東日本のケーススタディ）

プロジェクト研究 NPO 研究

学部 \_\_\_\_\_ ( APM / APS )

回生 \_\_\_\_\_ ( 1 / 2 / 3 / 4 / その他 )

郵便番号 〒 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

### 保証人記入欄

■私は、募集要項・シラバス及び別紙の遵守事項を本人に遵守させるとともに、これに反することによって生じた一切の事項について責任を持つこととします。また、プログラム参加において本人が負担する一切の債務については、プログラムに要する費用を限度額として保証いたします。

日付 \_\_\_\_\_

保証人署名 \_\_\_\_\_ ※「描画」で署名（入力不可）

郵便番号 〒 \_\_\_\_\_

住所 \_\_\_\_\_

※入力した住所に誤りが無いかを再度ご確認ください

電話番号 \_\_\_\_\_

本人との関係 \_\_\_\_\_

【以下のいずれかに該当する場合は、本誓約書を受理いたしません。】

- ・ 本人または保証人の署名がそれぞれの本人による直筆でない場合、または、両人の記入欄における筆跡が同一人物のものであると判断される場合
- ・ 友人や知人などが保証人になっているなど、その保証能力に欠けると本学が判断する場合
- ・ 記入欄に未記入箇所がある場合
- ・ その他、内容について虚偽の疑いがある場合